

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	市長秘書事務			
予算科目	2 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	行財政改革 行財政改革の推進			
所管課情報	担当課: 未来づくり戦略室		電話番号(内線): 513	
記入者情報	所属長: 坪内 圭也		担当責任者: 西山 安幸	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市長及び副市長			
根拠法令等	地方自治法			
事業の目的	市長及び副市長の公務を補助し、適切な市政運営を行う。			
事業の内容	市長及び副市長のスケジュールを重要度・緊急性に応じて調整を行うとともに、挨拶原稿等資料の作成及び随行を行う。市の交際上必要なもの、並びに市長の公務執行上必要とする交際費の適正な執行管理を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	5,215	2,430	3,753
	人件費	0	6,363	6,363	6,363
	合計	0	11,578	8,793	10,116
人件費 内訳	人工数	0.00	0.80	0.80	0.80
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	6,363	6,363	6,363
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	11,578	8,793	10,116

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
市長及び副市長出席依頼件数	件		750	404	789
市長、副市長及びその他代理出席件数	件		600	306	585
市長、副市長以外の代理出席件数	件		100	61	96

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,763	4,500	4,500	4,500	4,500	22,763

成果指標				
成果指標	市長、副市長以外の代理出席対応件数			
指標設定の考え方	出席依頼に対して、その重要度・緊急性とともに、市民が参加する行事への出席など対外公務のバランスを取りながら判断・調整を行い、代理出席対応などで市長及び副市長の政策立案及び決定に費やす時間を確保する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	100	100	100
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市長及び副市長のスケジュール管理について、公務の緊急性・重要性を考慮しつつ、代理出席など調整を行い、円滑に遂行できた。今後より一層、市長及び副市長の限られた時間を有効に活用できるように優先度を適切に判断するとともに、政策決定に必要な内部調整等の時間を確保することが望まれる。市長交際費の取り扱いについては、近隣自治体との均衡や財政状況等を考慮しながら適正な執行に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市長及び副市長のスケジュール管理については、優先度、重要度を考慮し、適切に管理できている。施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。今後も引き続き、市長交際費等を適正に執行できるよう努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題